

主なまちの整備計画・完成予定

中野区内で計画されている主な整備事業から、中央1丁目で行工事中の中野東中学校と先ごろ発表されたJR(中野3丁目、4丁目)中野駅西口駅ビル計画の完成予定図です。
なお完成予定図、主な整備計画スケジュールは、中野区ホームページ掲載資料等に基づいて作成したものです。



中野東中学校 環6・山手通り側

中野東中学校 北東側

中野駅西口・駅ビル 北西側

中野駅西口・駅ビル 南東側

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
中野東中学校	建設工事	完成										
平和の森小学校	計画		建設工事									完成の遅延あり
平和の森多目的広場	建設工事	完成										
平和の森新体育館	整備工事	完成										
新区役所庁舎	計画		建設工事		完成					南北通路完成		
中野駅西口駅ビル			建設工事									完成
区役所・サンプラザ再整備		計画							建設工事			完成
中野駅南口再開発			建設工事		完成							南口広場完成

Home Page
Facebook HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルウェブサイト
ホームページ
http://kobayashizenichi.com/

Facebook
「小林ぜんいち」で検索

小林 ぜんいち

■ 議会役職等

- 中野区監査委員
- 総務委員会委員
- 中野駅周辺整備・都市観光調査特別委員会委員

■ 経歴

- (株)宮本忠長建築設計事務所
- (有)TAF 設計事務所
- 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等 講師など

■ 所属団体等

- (社)日本建築学会正会員
- (社)東京建築士会正会員
- 福祉住環境コーディネーター協会会員
- マンションリフォームマネージャー
- 日本防災士会会員
- 早稲田大学稲門建築会会員
- 中野稲門会会員
- 中野区長野県人会副会長
- 上町町会長

中野区議会 公明党議員団 中野区中野 4-8-1 TEL.03-3228-8875

小林ぜんいち NEWS

Zenichi Kobayashi



ご挨拶

日頃より、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
中野区議会は第三回定例会が開催され、小林ぜんいち是一般質問に立ち、皆様方から頂いたご意見ご要望の中から質疑をさせて頂きました。
誰もが安心して暮らせる持続可能な中野の未来を創るまちづくり、SDGs持続可能な開発目標を中心に私たちの住むまちづくりについて提案を含めた質疑です。これからも一人の声を大切に、中野区の基本構想にSDGs持続可能な開発目標を取り入れたまちづくり、介護や子育ての負担軽減、命を守る防災・減災に全力で取り組んで参ります。

小林 ぜんいち

— KOMEI TO —
公明党
第28号
2019年11月発行
中野区公明党議員団

2019年 第3回定例会 一般質問



一般質問(2019.09.27)

質問項目

- SDGs推進と基本構想について
 - 1) 区長の取り組みと認識について
 - 2) SDGs未来都市・中野について
 - 3) 基本構想・基本計画策定について
- 中野のまちづくりについて
 - 1) 中野駅周辺のまちづくりについて
 - 2) 新北口エリアのまちづくりについて
 - 3) 集合住宅条例について
- 見守り・支えあい体制について
 - 1) 見守り・支えあい活動の支援について
 - 2) 町会活動への支援強化について
- その他
 - 1) パートナーシップ制度について



小林ぜんいち 令和元年 第3回定例会 一般質問

新たな基本構想策定に向け SDGsを基本に推進を

小林 SDGsとは、持続可能な開発目標の略で、17項目の目標からなり、2015年の国連サミットで採択された国際目標である。
①SDGsについての区長の認識と取り組み姿勢を伺う。
②新たな基本構想をつくる中野区こそ、SDGsを全庁的に取り組むべきではないか。
区長 ①国家戦略としても位置づけられており、国が示すビジョンは区が目指す地域社会と同じ方向性を持っていると認識している。基本構想の検討にも、そうした考えを取り入れていく。
②具体的な取り組みは、基本計画を検討の中で検討していく。

SDGs(持続可能な開発目標)

中野駅周辺のまちづくり

小林 私は中野駅周辺のまちづくりは、中野に限定するのではなく、中央線沿線を軸に広域にとらえるべきと何度も訴えてきた。中野二丁目、三丁目、四丁目各地区で行われている民間による都市開発も、中野だけを商圏とは捉えてはいないか。広域の商圏を設定しているはず、新宿駅周辺では大規模な再開発計画があり、中野の独自性を出すことも視野に入れるべきと考える。
①区はまちづくりを総合的にアドバイスできる都市政策や都市計画の専門家を招聘してはどうか。
②都市開発が進み人口が増加すると、インフラ整備、子育て・高齢者施策、地域防災計画などが喫緊の課題となる。こうした課題には、総合的、横断的な対策が必要であり、体制をつくっていく必要があると考える。対応策について伺う。



- ③中野駅新北口駅前エリアの「再整備事業計画策定の考え方」において、新区役所整備の財源を確保する方策が示された。その資金は一体どこから賄われるのか。その結果できる建物は、超高層の建物になるのか。
- ④中野サンプラザの所有会社である「まちづくり中野21」の今後の在り方について、どのように考えているか。
- ⑤再整備後の未来都市・中野のまちづくりに寄与する運営を視野に入れた体制づくりや、事業期間中から地元とのコミュニケーションを図り、エリアマネジメントをソフトウェアライティングすることができるよう、民間参画事業者の取り組みを誘導すべきではないか。
区長 ①新たな基本構想を踏まえたまちづくりに当たっては、専門家からアドバイスを受けながら推進していく。
②将来人口推計に基づく全庁的な検討を進めていく。
③高度利用によって生み出される保留床の処分金が、転出補償金や建物整備費などの原資となる。駅前立地を最大限に活用する観点から、施設は高層化すると考えている。
④中野駅新北口駅前エリアの再整備事業が始まり、中野サンプラザが解体されることとなれば、会社の存在意義はなくなるかと考える。今後、事業計画が固まった後、しかるべき時期に、議会の議決の手続き、会社の解散手続きをとることになる。
⑤民間参画事業者は、市街地再開発事業の施行者として公募する。その役割は再開発事業が完了するまでとなる。事業完了後の施設運営、管理にも実効性のある体制構築については、公募における提案として求めていく。エリアマネジメントについては、再整備の初動期から取り組むことを求めていく。

将来を見据えた 住宅政策の見直し検討を

小林 突然持ち上がるマンション建設等の一部に住環境に無配慮な計画があり、建築主が丁寧な対応を拒むケースがある。都市計画マスタープランの改定等に合わせ、丁寧な説明会の実施や商業系地域においては連続する賑わいの創出のために1階部分に物販等商店の付置を義務化するなど、持続可能な中野の将来のため住宅政策である「集合住宅の条例」を見直してはどうか。
区長 地域の特性に応じて商店街の振興に配慮を求めるなどの取り組みをしている自治体もでてきている。こうした動向を参考に、集合住宅条例の在り方を検討していきたい。

新たな見守り・支えあい活動の推進を

小林 「中野区地域支えあい活動の推進に関する条例」が平成23年4月に施行され、8年が経過。見守り活動は、町会、区のアウトリーチチーム、民生委員、社会福祉協議会などが中心に担っているが、今後、高齢者人口の増加や認知症の増加、一人暮らしの増加等が想定されるため、見守り側の体制強化が求められる。
①社会福祉協議会の「福祉何でも相談」や地区担当の業務などをコミュニティソーシャルワーク事業として再構築し、委託してはどうか。
②社会福祉協議会は、人事異動も少なく、専門性を持った「伴走型支援」を得意としている。未来都市・中野のまちづくりとして、社会福祉協議会との連携を更に強化しつつ、区の施策の検証や創設等に力を入れてはどうか。
③区内全域で町会・自治会の活動が安心して行える環境づくりの一つとして、保険料の支援を行ってはどうか。
区長 ①支援の必要人を一人も取りこぼさないセーフティネットの構築は、区の責務であり、すこやか福祉センターのアウトリーチ担当職員の本来的役割である。
②見守り・支えあい活動は重層的な取り組みが重要であり、社会福祉協議会とも連携を強化している。アウトリーチ活動を進める上でも、地域福祉の専門機関である社会福祉協議会との協働は重要であると認識している。
③助成制度の充実を含め、効果的な支援策を検討したい。

同性パートナーシップ制度の普及啓発推進を

小林 区はパートナーシップ制度を昨年8月から全国的にも先駆けて実施。9月1日現在で33組が宣誓書を受領されている。今後、更なる普及啓発に向けて、どのような取り組みを行うのか。また、今後の職員向けの取り組みについてはどう考えているのか。
区長 今年度は、性的マイノリティの当事者を講師や相談員とした区民講座や相談事業を9月に実施したほか、12月には職員研修を実施することとしている。

